

故事成語 — 背水の陣

じん

信乃ち万人をして先行せしめ、

出でて水を背にして陳す。

趙の軍望見して大いに笑ふ。

平旦、信大将の旗鼓を建て、

鼓行して井陘口に出づ。

趙壁を開きて之を擊つ。

大いに戦ふこと良久し。

是に於いて信・張耳詳りて鼓旗を棄て、

水上の軍に走る。

水上の軍開きて之を入れ、復た疾戦す。

趙果たして壁を空しくして漢の鼓旗を争ひ、

韓信・張耳を逐ふ。

韓信・張耳已に水上の軍に入る。

軍皆殊死して戦ひ、敗るべからず。

〈『史記』より〉

韓信はそこで一万の兵を先行させ、

関所を出て川を背にして陣陣を敷かせた。

趙の軍は遠くから眺めて大いにあざ笑つた。

明け方、韓信は大将の旗を立て、

太鼓を打ち鳴らして井陘の関所に撃つて出た。

趙はとりでを開いて迎え撃つた。

しばらくの間激しく戦つた。

そこで韓信と張耳は相手を欺いて太鼓や旗を捨て、

川のほとりの軍に逃げ込んだ。

川のほとりの軍は陣を開いて味方を迎え入れ、再び激しく戦つた。

趙は案の定とりでを空にして漢の太鼓や旗を争つて奪い取り、

韓信と張耳を追つた。

韓信と張耳はすでに川のほとりの軍に入っていた。

漢軍は皆決死の覚悟で戦い、破ることができなかつた。

*井陘：中国の地名。
ここに趙軍が集結していた。

*韓信：漢の武将。
張耳：漢の武将。